

雷等天候不順により、試合実施が不可能の場合の処置

【リーグ戦・ブロック決勝・彩の国カップ】

1. 雷等天候不順により、試合実施が不可能な場合の決定は、会場責任者の判断とする。
2. 試合開始後、主審が試合中断を判断した場合の処置は次のとおりとする。

再開出来る見込みがない場合、試合が中断した時点の経過時間によって、下記の通りの処置とする。

※会場によって中断時間をとれる場合でも、中断時間は最大20分間とする。

- ・ 試合開始から前半終了まで
⇒中断時点からの再試合とする。ただしメンバーは問わない。
 - ・ 前半終了以降
⇒その時点でのスコアをもって試合成立とする。
3. 日程上、再試合が困難な場合は、中断時点でのスコアをもって試合成立とする。

【全国クラブ選手権・県民総合スポーツ大会】

1. 雷等天候不順により、試合実施が不可能な場合の決定は、会場責任者の判断とする。
2. 試合開始後、主審が試合中断を判断した場合の処置は次のとおりとする。

再開出来る見込みがない場合、下記の通りの処置とする。

※会場によって中断時間をとれる場合でも、中断時間は最大20分間とする。

- ・ 試合が中断した時点でのスコアをもって試合成立とする。
 - ・ スコアが同点の場合は、コイントスにより勝敗を決する。
3. 以降の試合はコイントスにより勝敗を決する。
※予備日などがなく、延期日程の確保が難しい場合とする。